

“ふるさとちば”のための政策推進を

阿部 絃 いち あべこう一 県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

総合計画の進行管理見直しへ

阿部県議の提言受け 県が政策転換を図る

千葉市稲毛区選出の阿部絃一(あべこういち)県議は、新年度予算案を審議する2月定例県議会の一般質問に登壇し、政策評価制度などについて県当局の考え方をただしました。政策評価制度については、阿部県議が昨年6月議会で新たな提言を行ったことから、これを受けて県が政策転換を図りました。政策評価は、この4月から制度を改め、税金の無駄をなくし、県民の政策ニーズにマッチさせるため、政策事業(施策)の評価で検証と点検を行い、それを政策立案に生かしていくシステムの導入が図られることになりました。

また、阿部県議は日ごろから、県民・市民に迅速かつ正確に県の情報提供を行うため、議会開催ごとに県議会レポートを発行し、情報提供に努めることが、議員としての責務だとしており、今回も2月議会の阿部県議の質疑の概要をこの報告いたします。



本会議場の自席から 厳しく再質問する阿部県議

ちば元気プラン

阿部議員 県は昨年10月、新たな総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」を策定し、次世代が誇れるような光り輝く千葉への飛躍を目指していくこととされています。

た、若手県での好ましい評価制度の事例を取り上げて、本県もこれに合わせ、「政策評価に重点を置いた制度へ改善していただく」ことを要望させていただきました。

そこで伺います。1点目として、なぜ総合計画の進行管理制度を見直すことにしたのか。

今後、この計画を着実に推進していくためには、PDCAサイクルに基づき、計画がきちんと進んでいるかを確認し、遅れているものの原因を分析して、取り組みの見直しを進めていく「政策評価」の実施が不可欠です。

県では、これまで総合計画の進行管理として、重点的な施策・取り組みについての評価を実施していますが、執行部からは、進行管理の課題等を踏まえた見直しを行い、総合計画の新たな評価を平成30年度から実施していく予定と聞いています。

私は、昨年6月議会の一般質問で、視察を通じて把握し

更生保護対策

阿部県議 平成29年度版の犯罪白書によれば、刑法犯の認知件数は平成14年度をピークに減少傾向にあります。再犯率は一貫して上昇し続けており、平成28年度には過去最大の48.7%となっています。

私は、更生保護活動を行う保護司として13年活動していますが、再犯防止に向

しかしながら、これまでの進行管理では、目標にどれだけ近づいたのかが見えづらかったという課題が生じていました。専門家で構成される有識者懇談会でも「目標を客観的に把握し、その進捗や変化を明らかにすべき」といった指摘がなされています。

こうした課題を踏まえ、新総合計画の策定に合わせ、県では、目標を客観的に把握・分析できるように評価制度の見直しを行うこととしています。

要望 政策評価制度については、より多くの県民の声を聞いて、総合計画の着実な推進を図っていただくよう要望します。

県は、地方再犯防止推進計画について、どのように考えているのか。

警察本部長 平成28年度の本県における刑法犯検挙者数10万1588人のうち、再犯者が4929人で48.5%を占めており、本県においても再犯防止は重要な課題です。

平成28年12月に施行された再犯防止等の推進に関する法律では、地方公共団体は「地域の実情に応じた施策の策定及び、実施する責務を有する」とされ、また、「地方再犯防止推進計画を

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見をお聞かせください

あべこう一 県 事務所

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 TEL.043-287-8595 FAX.043-285-2192

阿部 絃 一 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

要望 県による保護観が協力雇用主に対する優遇措置、並びに犯罪をした者等に係る公共住宅への入居における特別な配慮について、再犯防止推進計画の中に盛り込むことを前提として、前向きに検討するよう要望します。

「健康寿命日本一」を掲げ 積極的な健康づくりを提言!

医師修学資金貸付け 県内出身者に限定へ

条例改正の内容

阿部議員 昨年12月に厚生労働省が公表した、医師・歯科医師・薬剤師調査によると、平成28年12月末現在の本県の医師数は、11843人で、前回調査より506人増加していますが、人口10万人対医師数は、189.9人で、依然として全国平均の240.1人を大きく下回っています。

県では、これまでも医師修学資金貸付事業や、千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター事業などにより、医師確保に努めてきたところですが、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる

要件が示されたため、当該要件に適合するよう、制度見直しを行うものです。

主な改正内容は

- 貸付対象者を県内出身者に限定すること
- 県内病院での臨床研修の義務付け
- ライフイベントやキャリア形成に配慮した猶予期間の拡充
- 10%の金利の設定

阿部議員 貸付対象者などです。

健康先進県目指し

阿部議員 今後、急速な高齢化の進展により、医療や介護の負担が一層増えることが予想されます。県の健康増進計画である

ような課題が見えてきているのか。

担当部長 市町村の健康寿命の地域差について、平成22年と25年を比較すると、男性が0.05年、女性は0.06年差が開いていました。この地域差を縮小していくことが重要です。

成人の喫煙率については、平成27年度の現状値が男性25.1%、女性8.4%であり、目標値の男性20%、女性5%に到達しておらず、たばこ対策の推進が必要です。

要望 ①県として、第2次健康ちば21の中間評価において、目標を達成できなかった項目について、課題を県民に分かりやすく発信し、市町村や関

を県内出身者に限定しても、必要な人数を確保できるのか。

担当部長 過去の貸付者の約8割が県内出身者となっています。今後とも、修学資金生をしつかりと確保できるように、個別の大学訪問により一層の周知に努めるとともに、入学前選抜未実施の大学への導入の働きかけなど、修学資金生の確保対策について、関係大学と協議を進めてまいります。

係団体等の協力を得て、「健康寿命日本一」を県のスローガンとして掲げ、健康づくりに積極的に取り組むよう、要望します。

②各市町村の国保、全国健康保険組合等を含めて、県民の特定検診等のデータを統合し、データベースの活用を図ることによって、「21世紀型千葉県健康先進県」を目指していたべくよう要望します。併せて、新潟県や静岡県の取り組みを参考に進めていただくよう要望します。

小規模企業の振興策 具体的な数値目標を設定

小規模企業の持続的発展を図るために、小規模企業の特性を踏まえ、小規模企業に寄り添った施策を実施していく必要がありますが、県は具体的にどのような取り組みを行うのか。

担当部長 「第4次ちば中小企業元気戦略」では、起業創業から事業継承に至る各ステージに応じて、小規模企業に寄り添ったきめ細か

な施策を行っています。具体的には、新たに起業家交流会後のコーディネートによるプロジェクトサポート、チャレンジ起業支援センターに事業継承課題に取り組みプロジェクトマネージャーの配置による支援を行うほか、事業の持続的な発展に資する小規模事業資金の融資拡大などを総合的に実施してまいります。

施策効果を検証

阿部議員 具体的な数値目標を設定し、施策の効果を検証していくことが必要と思われるが、どうか。

担当部長 「第4次ちば中小企業元気戦略」では、施策の実効性を確保するため、

官公需の受注へ

阿部議員 官公需における小規模企業の受注機会の確保をどのように進めていくのか。

担当部長 官公需における小規模企業の受注機会の確保を進めていくためには、下請け発注や企業を組織化した組合の活用など、小規模な企業に配慮した取り組みを進めていくことが重要です。

このため、「第4次元気戦略」では、新たに建設工事の受注者に対する県内事業者の下請け発注や、工事材料の県内生産品による調達などの要請、官公需適格組合の活用等を具体的に記述するなど、官公需施策を

山王交番開設へ

(仮称)山王交番が3月28日に開所式を迎えます。自治会や地元の関係者の皆様には大変ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。申し上げます。



本会議で質問する阿部県議

2月県議会一般質問に登壇